

みどりのかぜ

学校だより 令和5年4月20日号
 草津市立笠縫小学校
 Tel(077)562-0352
 Fax(077)566-1195

令和5年度 学校経営管理全体計画：構想（学校づくりビジョン）

<子どもの姿>

穏和だが、コミュニケーション力が弱い。
 自主性や創造性に弱さが見られる。

学校教育目標

【草津市立笠縫小学校】

<地域の姿>

学校や地域を愛し、伝統を重んじる心が強い。

明日も行きたい学校
会いたい友だち・先生
心待ちの授業
 ～自育・和協・勤儉の教え～

～自己肯定感やふるさと意識を育てよう～

【めざす子ども像】

自分が好き→自己肯定感

学力向上 体力向上

友だちが好き →自己存在感・安心感

学級・学年集団 仲間づくり 思いやり

先生が好き →信頼される教職員

発見する喜びのある授業 きく・寄り添う姿勢

学校が好き →安心・安全

落ち着いた環境づくり 安全管理の徹底

笠縫(ふるさと)が好き →共育・協育・郷育

地域学習 いっしょに体験する

学ぶ力向上の

取り組み1

自ら学ぼうとする
 意欲をもち、考
 える、伝え合う力を育
 ています。

- ・算数が好き
 - ・算数が役に立つ
 - ・図書館教育の推進
 - ・読書活動推進
- ICT機器の有効
 的な利用を推進し
 ます。

キャリア教育の推
 進で夢を育みます。

学ぶ力向上の

取り組み2

基礎基本の確かな
 力を身につけます。

- ・「書きタイム」他
朝学びの充実
 - ・MIMによる読みの指導
 - ・ひらがな・カタカナ
 - ・九九・ローマ字
- 学習習慣の定着を
 図ります。

- ・自主学習ノート
- ・家庭学習チャレンジ週間
- 読書に親しみます。
- ・朝読書
- ・読み聞かせ
- ・隙間読書の習慣

生きる力の基礎—知力・徳性・体力の育成

- ① 学ぶ力向上プラン（校内研究の充実＝算数科を窓口に）
 *自ら学ぼうとする意欲をもち、主体的に対話的に深く学んでいけるよう、授業改善を行
 い、学校教育の質の向上に向けて取り組む。
- ② 学びの根幹、基礎基本の力を育てる。→規範意識の育成と一人ひとりのよさを伸ばす。
 *子どもが自分の言葉で自分の気持ちが語れる場を積極的に取り入れる。
 *OJT 運営委員会を生かしながら、子どもの情報の共有と指導の工夫・共通化を図る。
- ③ ゲストティーチャーを活用した「体験学習」・地域の方との「交流活動」を積極的に取り入れ、
 生きる力を育てる。…地域協働校の理念を生かしたコミュニティスクールの推進
- ④ 人権教育の日常実践を通し、「命・人権を大切に、支え合う集団づくり」をめざす。
 *自己肯定感を育て、友達や自分、学校、ふるさと笠縫を大切にする心情や態度を育てる。
- ⑤ 係活動や委員会活動などの特別活動を通して、「人の役に立つ」と自分もうれしくなる体験
 を積ませ、最後までやりきる力を育てる。*達成感を味わわせる。

学ぶ力向上の取り組み3

自分の居場所・自己存在感を育てます。

- ・話し合い活動の充実
自分の意見を自分の言葉で話す
安心して自分を出せる集団作り
- ・係活動や委員会活動、代表委員会や
縦割り活動、実行委員会など、責任を
もってやり遂げ、人の役に立つ経験、
達成感を数多く味わう。

学ぶ力向上の取り組み4

学びの姿勢を育成します。

- ・「笠っ子のくらしの3カ条」（心がけよう）
の推進（基本的生活習慣の確立）
- ・「家庭学習の手引き」で家庭学習の充実
- ・学習規律と学習態度の育成
（情報モラル教育・学びの姿勢・習慣）

学ぶ力向上の取り組み5

スポーツの生活化を図ります。

- ・外遊びの習慣化と運動の充実
- ・ロープジャンプ大会などの開催
- ・パラリンピック競技などの体験
- ・チャレンジ週間（家でゲームなどをす
る時間を決め、目標達成チャレンジ）

めざす教師・教職員像＝人間的な魅力を！ 子どもに寄り添い 学び続ける教師（確かな学力、豊かな人間性を育成する支援者）

教育力アップ
 教師力アップ
 授業力アップ

- ◎主体的に対話的な深い授業を行うための指導力の向上（新教育課程で基礎基本の充実と応用力アップ）
 - ◎子どもの心に寄り添い、支える指導力の向上（一人ひとりを大切にする、人間性豊かで魅力ある教師）
 - ◎ほめることとしかることのけじめをつけ、学ぶ意欲につなげる指導力の向上
 - ◎プロとして、よくわかる授業力の向上【授業研究の実践・専門性の向上：授業公開】
- 校内研究を核としながら指導方法の改善を進める。（講師の招聘）

めざす家庭・地域像（協力して育つ 共に育つ 響いて育つ）

地域・保護者との連携

（地域協働校の理念を生かしたコミュニティスクールの推進）

大人が手本を見せよう、大人の生き方に学び合おう

人権が日常生活に根を下ろし、あらゆる教育が人権を軸に動く学校

やりきる・人にやさしくする・あかんことはあかん

10日(月)の始業式で、三つのことを大切にしてほしいと子どもたちに話しました。

学校教育目標にあるように、「明日も学校に行きたい」と思えるような魅力ある学校を創り、その中で子どもたちの自己肯定感やふるさと意識を育てていくことは、私たち教職員の使命だと思っています。ただし、全てのことをお膳立てした中で、子どもたちが受動的に活動するだけで子どもたちの肯定的な意識が育つのかと問われると、決してそうではないと思います。

やりきる

私が小学2年生の時に、縄跳びに夢中になっていたことを思い出します。体も小さくそんなに運動が得意でなかった私ですが、身が軽く、二重跳びがようやくできるようになったことがうれしくて、ひたすら練習して少しずつ回数を増やしていきました。ある時の体育の授業で、誰が一番長く二重跳びを跳び続けられるかを競ったとき、2番目に長く跳べてとても喜んだことを覚えています。そのせいもあって、その後は縄跳びの授業を楽しみにして学校に行っていた記憶がよみがえります。学校生活の中では様々な教育活動を行います。その中で、自分にできそうだと、やってみたいと思ったことを、子どもたちにはあきらめずに挑戦してほしいです。納得できるまでやりきることで自己肯定感を高めてけるように、私たち教職員も子どもたちを認め、励ましていきます。

人にやさしくする

子どもたちは一日の大半を学校で過ごします。当然、個性も、育った環境も、置かれている状況も様々な子どもたちの集まりですから、うまくいくこともあれば、互いに考えや思いがかみ合わないこともたくさんあります。うまくいかないことがあれば、その度に子どもたちは、悲しんだり落ち込んだり、イラっとしたりと様々なマイナスの感情が芽生えることだと思います。そうした思いを支え、プラスの方向に導いてくれるのは、やはり私たち人(子どもたち・教職員)同士の思いやりのある言葉がけや行動ではないでしょうか。それを互いに感じることで、自身への肯定的な思いや他者への共感も生まれてくるのではないのでしょうか。相手のことを考えた思いやりのあるやさしさが、子どもたちの中にたくさん芽生えていけるように、私たち教職員も思いやりをもって言葉がけを続けていきます。

あかんことはあかん

集団生活で基盤となることは、誰もが心身ともに安心・安全に生活できることが保障されていることです。学習規律と学習態度の育成を図ること、みんなで使う場所や物の使い方を守ること、互いの人権を守り、いじめを許さないことなど、それぞれが持っている力を安心して発揮し、自己実現できるように、それぞれが守らなければいけないことは社会にも学校にもあります。なぜ守らなければいけないのか、守らなければどうなるのかなど、子どもたちに寄り添い十分納得させたうえで、「あかんことはあかん」と毅然と対応していきたいと考えています。

「やりきる・人にやさしくする・あかんことはあかん」ことを大切にしながら、学校教育目標の実現に向けて教職員一丸となって取り組んでいきます。



笑顔であいさつ日本一！笠縫小学校

毎朝、子どもたちの登校を、見守り隊やたくさんの保護者、地域の方々が見守ってくださっています。笠縫小学校区は、保護者・地域の方々の協力の手厚い学区であることを改めて感じています。それに対して、あいさつを返している子どもがまだまだ少ないなあというのが実感です。入学式で1年生に話したように、元気なあいさつは、人と人をつなぐ大切な言葉であり、コミュニケーションの始まりです。また、見守っている側からすると、元気なあいさつが返ってくると一日の活力にもなります。元気なあいさつを、日頃見守ってくださっている地域や保護者の方々に少しずつできるように、子どもたちにも継続的に指導していきます。ご家庭でも、ぜひ朝の「おはよう」の一言から一日がスタートできるようご協力をお願いします。昇降口に掲げられている「笑顔であいさつ日本一！笠縫小学校」の合言葉に負けないように、気持ちの良いあいさつができる素敵な学校にしていきたいです。



笠縫小学校 学校ホームページ <http://www.kasanui-p.skc-edu.jp/> 「笠っ子日記」を毎日更新中です。ぜひご覧ください。

